

No.44 ヒューマンエラー対策研修プログラム

ヒューマンエラー対策研修 基礎コース

ヒューマンエラー対策の基礎的な内容をわかりやすく体系的に学べます。

対象者 すべての方（新入社員、中堅社員、管理監督者、安全品質担当者、経営層）
事故再発防止の基礎知識を学びたい方

企業の課題

- ☒ ヒューマンエラーによるミスやトラブルが現場で頻発している
- ☒ 組織や現場で安全文化やルール遵守の意識が十分に浸透していない
- ☒ 個人の責任追及から脱却し、効果的な防止策・仕組みの構築が必要

コースの目的

- エラーは人間の脳の情報処理過程で発生することを学び、ヒューマンエラーをゼロにすることはできないことを理解する
- ヒューマンエラー対策の基本的考え方を理解したうえで、効果的なヒューマンエラーの防止方法を習得する
- 事故や不具合のヒューマンエラーの要因は、個人の問題だけでなく組織など周囲を取り巻く環境（SHELモデル）にもあることを理解する
- ケーススタディにてヒューマンエラーを抽出し、事故や不具合はいくつかのヒューマンエラーが連鎖して発生することと、どこかでエラーチェーンを切る事によって防止できることを習得する

基本プログラム

- 人はなぜエラーを起こすのか
- ヒューマンエラー対策の概念
- ヒューマンエラー防止法
- ケーススタディ



SHELモデル



頭文字	構成要素
S	SOFTWARE
H	HARDWARE
E	ENVIRONMENT
Lo	LIVEWARE OWN
L	LIVEWARE



受講者の声
※一部抜粋

業務において、エラーが引き起こされる要素がいくつも潜んでいることが実感できたので、改めて業務の改善が必要だと感じました。

安全文化醸成のために、風通しがよく、話しやすい職場となる環境づくりに取り組んでいきたいと思いました。

「誰の責任か」ではなく「どのようにすれば防止できたか」が大切であることを強く感じました。

ステップアップコース

※基礎コース（オンラインを含む）を受講された方が対象

ヒューマンエラー 対策研修

「基礎コース」

ヒューマンエラー対策の基礎的な内容をわかりやすく体系的に学べます。

①「ヒアリング&分析コース」

事故や不具合の要因分析と対策立案などの管理手法を学べます。

②「仕組みコース」

現場がエラーを起こさないための仕組み作り（未然防止策）のポイントと、安全・安心な職場作りに不可欠なリスク管理と、安全文化の醸成に必要な要素を学べます。

③「行動コース」

事故や不具合を絶対に起こさないという意識を持ち、責任ある誠実な行動をすることの重要性と、職場にあるエラーに気付き発信することの重要性を学べます。

※ステップアップコースは2026年度下期以降のご案内となります。